



## 2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東  
 コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩田 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 赤澤 洋樹 TEL 06(4795)7500  
 定時株主総会開催予定日 2020年12月18日 配当支払開始予定日 2020年12月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月21日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年9月期の連結業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	2,618	18.8	276	226.1	261	230.5	183	—
2019年9月期	2,204	22.1	84	—	79	—	△34	—

（注）包括利益 2020年9月期 182百万円（—） 2019年9月期 △36百万円（—）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	29.09	29.05	15.7	10.8	10.6
2019年9月期	△5.54	—	△3.1	3.7	3.9

（参考）持分法投資損益 2020年9月期 △0百万円 2019年9月期 4百万円

（注）2019年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	2,751	1,275	46.4	202.20
2019年9月期	2,064	1,061	51.4	168.68

（参考）自己資本 2020年9月期 1,275百万円 2019年9月期 1,061百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	521	△510	334	1,118
2019年9月期	207	△526	△100	773

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	4.00	4.00	25	13.8	2.0
2021年9月期（予想）	—	0.00	—	4.50	4.50		—	

（注）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

現時点では2021年9月期の業績に影響を与える未確定な要素が多いため、第2四半期（累計）及び通期の合理的な業績予想の算定が困難な状況です。当該連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	6,372,415株	2019年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2020年9月期	64,493株	2019年9月期	81,423株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	6,303,689株	2019年9月期	6,314,001株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて厳しい状況となり、7月以降は景気持ち直しの動きが見られるものの、今後の先行きについては国内外の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があり、依然として余談を許さない状況が続くものと考えられます。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、2019年のインターネット広告費は前年比119.7%の2.1兆円（株式会社電通「2019年日本の広告費」）と6年連続で二桁成長し、総広告費に占める媒体構成比も前年から3.4ポイント増の30.3%となり、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましても、2019年国内BtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は前年比107.7%の19.4兆円に拡大しております。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率も、BtoC-ECで6.8%（前年比0.5ポイント増）、BtoB-ECで31.7%（前年比1.5ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,618,633千円（前年同期比18.8%増）、営業利益276,952千円（前年同期比226.1%増）、経常利益261,181千円（前年同期比230.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益183,391千円（前年同期は34,994千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

#### ① マーケティングプラットフォーム事業

当事業は、デジタルマーケティング領域において、マーケティング効果測定プラットフォーム「AD EBiS」や分析レポート自動作成サービス「アドレボ」等を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを基盤としたマーケティング統合環境を提供するサブスクリプション型のサービスであり、広告効果測定市場において5年連続シェアNo.1（株式会社アイ・ティ・アール「ITR MarketView：メール/Webマーケティング市場2020」広告効果測定市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2019年度予測））を獲得しております。

当連結会計年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動停滞の影響を強く受けた業種においてサービス利用減が発生した一方で、ECなどの非対面ビジネスにおける需要は堅調であり、コロナ禍以降も売上は全体として横ばいで推移いたしました。

また、2020年1月1日付で株式会社オプトより広告効果測定ツール「ADPLAN」事業を譲り受け、当社事業としてサービスを開始しております。今後は「ADPLAN」のサービスを順次「AD EBiS」に移行していくことで、「AD EBiS」の広告効果測定市場のリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものとし、引き続きデジタルマーケティングの進化を加速させていきます。

この結果、売上高は2,317,866千円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は198,548千円（前年同期比331.1%増）となりました。

#### ② 商流プラットフォーム事業

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」を提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者からマージン収入を得るというエコシステムを構築しております。

当連結会計年度においては、コロナ禍においてEC売上が好調に推移したことによるマージン収入増があり、売上は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は300,766千円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は78,403千円（前年同期比101.6%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,563,492千円となり、前連結会計年度末に比べ421,546千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が345,073千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は1,187,977千円となり、前連結会計年度末に比べ265,579千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が241,745千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,751,470千円となり、前連結会計年度末に比べ687,126千円増加いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は718,222千円となり、前連結会計年度末に比べ103,856千円減少いたしました。これは主に未払金が63,176千円、未払法人税等が36,027千円、一年内返済予定長期借入金が57,704千円と、それぞれ増加したものの、借入金の借り換えにより短期借入金が300,000千円減少したことによるものであります。

また、固定負債は757,778千円となり、前連結会計年度末に比べ576,659千円増加いたしました。これは主に長期借入金が577,149千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,476,001千円となり、前連結会計年度末に比べ472,802千円増加いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,275,468千円となり、前連結会計年度末に比べ214,324千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益183,391千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.4%（前連結会計年度は51.4%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ345,073千円増加し、1,118,716千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は521,449千円（前年同期比151.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益を261,181千円、減価償却費182,036千円及びのれん償却額54,908千円を計上したこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は510,074千円（同3.1%減）となりました。これは主に、自社開発ソフトウェアの計上等の無形固定資産の取得による支出172,040千円、「ADPLAN」事業の譲受による支出315,000千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は334,708千円（前年同期は100,175千円の支出）となりました。これは主に、長期借入による収入が1,050,000千円あった一方で、短期借入金の純減額が300,000千円、長期借入金の返済による支出415,147千円等があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率 (%)	83.2	85.8	54.4	51.4	46.4
時価ベースの 自己資本比率 (%)	880.3	745.1	371.2	403.8	388.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	48.7	3.6	2.1
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	9.6	71.0	90.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,642	1,118,716
売掛金	271,133	336,810
前払費用	78,625	94,403
その他	19,084	14,432
貸倒引当金	△540	△870
流動資産合計	1,141,945	1,563,492
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,663	93,115
減価償却累計額	△68,152	△77,063
建物(純額)	24,511	16,051
工具、器具及び備品	218,706	227,503
減価償却累計額	△164,094	△191,764
工具、器具及び備品(純額)	54,612	35,738
有形固定資産合計	79,123	51,790
無形固定資産		
のれん	109,240	316,351
ソフトウェア	386,540	434,061
ソフトウェア仮勘定	86,716	66,130
その他	7,735	15,435
無形固定資産合計	590,233	831,978
投資その他の資産		
投資有価証券	39,124	39,271
長期前払費用	24,152	29,123
繰延税金資産	93,873	127,244
差入保証金	95,333	107,784
その他	2,184	1,307
貸倒引当金	△1,625	△524
投資その他の資産合計	253,041	304,208
固定資産合計	922,398	1,187,977
資産合計	2,064,344	2,751,470

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,770	3,582
短期借入金	400,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	199,852	257,556
未払金	134,294	197,470
未払法人税等	22,975	59,003
預り金	33,542	42,487
賞与引当金	18,602	48,058
その他	5,043	10,065
流動負債合計	822,079	718,222
固定負債		
長期借入金	142,001	719,150
賞与引当金	1,718	1,228
資産除去債務	37,400	37,400
固定負債合計	181,119	757,778
負債合計	1,003,199	1,476,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	308,043	312,401
利益剰余金	536,879	720,270
自己株式	△100,071	△72,445
株主資本合計	1,062,917	1,278,292
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,772	△2,823
その他の包括利益累計額合計	△1,772	△2,823
純資産合計	1,061,144	1,275,468
負債純資産合計	2,064,344	2,751,470



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,204,381	2,618,633
売上原価	643,692	786,776
売上総利益	1,560,689	1,831,857
販売費及び一般管理費	1,475,752	1,554,904
営業利益	84,936	276,952
営業外収益		
受取利息及び配当金	703	1,474
為替差益	—	1,160
持分法による投資利益	4,147	—
その他	1,962	904
営業外収益合計	6,813	3,538
営業外費用		
支払利息	2,964	5,531
為替差損	1,343	—
長期前払費用償却	7,587	6,296
投資有価証券評価損	386	—
持分法による投資損失	—	184
固定資産除却損	—	7,198
その他	446	98
営業外費用合計	12,728	19,310
経常利益	79,022	261,181
特別損失		
固定資産除却損	11,492	—
減損損失	19,431	—
訴訟関連損失	60,000	—
特別損失合計	90,924	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△11,902	261,181
法人税、住民税及び事業税	21,389	58,180
法人税等調整額	1,702	19,608
法人税等合計	23,091	77,789
当期純利益又は当期純損失(△)	△34,994	183,391
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△34,994	183,391

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△34,994	183,391
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,317	△1,051
その他の包括利益合計	△1,317	△1,051
包括利益	△36,311	182,340
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△36,311	182,340
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	306,772	296,750	571,873	△99	1,175,296	△454	△454	1,174,841
当期変動額								
新株の発行	11,293	11,293			22,586			22,586
剰余金の配当					—			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△34,994		△34,994			△34,994
自己株式の取得				△99,971	△99,971			△99,971
自己株式の処分					—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,317	△1,317	△1,317
当期変動額合計	11,293	11,293	△34,994	△99,971	△112,379	△1,317	△1,317	△113,696
当期末残高	318,065	308,043	536,879	△100,071	1,062,917	△1,772	△1,772	1,061,144

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	318,065	308,043	536,879	△100,071	1,062,917	△1,772	△1,772	1,061,144
当期変動額								
新株の発行					—			—
剰余金の配当					—			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			183,391		183,391			183,391
自己株式の取得				△136	△136			△136
自己株式の処分		4,358		27,762	32,120			32,120
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,051	△1,051	△1,051
当期変動額合計	—	4,358	183,391	27,625	215,375	△1,051	△1,051	214,324
当期末残高	318,065	312,401	720,270	△72,445	1,278,292	△2,823	△2,823	1,275,468

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△11,902	261,181
減価償却費	146,879	182,036
のれん償却額	15,605	54,908
貸倒引当金の増減額(△は減少)	450	△771
受取利息及び受取配当金	△703	△1,059
支払利息	2,964	5,531
持分法による投資損益(△は益)	△4,147	184
投資有価証券評価損益(△は益)	386	△331
固定資産除却損	11,492	7,198
減損損失	19,431	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	640	28,966
売上債権の増減額(△は増加)	△8,183	△64,574
前払費用の増減額(△は増加)	△6,239	△4,876
未払金の増減額(△は減少)	19,737	57,196
前受金の増減額(△は減少)	4,158	5,021
その他	8,411	23,548
小計	198,983	554,159
利息及び配当金の受取額	702	1,058
利息の支払額	△2,922	△5,741
法人税等の支払額	△3,730	△28,028
法人税等の還付額	14,570	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,602	521,449
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37,619	△9,264
無形固定資産の取得による支出	△284,702	△172,040
事業譲受による支出	△200,000	△315,000
差入保証金の差入による支出	△4,070	△17,067
その他	157	3,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526,234	△510,074
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△300,000
長期借入れによる収入	—	1,050,000
長期借入金の返済による支出	△199,852	△415,147
自己株式の取得による支出	△100,271	△136
配当金の支払額	△52	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,175	334,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,323	△1,010
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△420,130	345,073
現金及び現金同等物の期首残高	1,193,773	773,642
現金及び現金同等物の期末残高	773,642	1,118,716

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、部署を基礎としてサービス別のセグメントから構成されており、「マーケティングプラットフォーム事業」及び「商流プラットフォーム事業」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「マーケティングプラットフォーム事業」は、マーケティングプラットフォーム「AD EBiS」を提供する事業です。また、「商流プラットフォーム事業」はECオープンプラットフォームである「EC-CUBE」の周辺収益事業です。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格を勘案して決定しております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	マーケティング プラット フォーム	商流プラット フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,951,112	253,269	2,204,381	—	2,204,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,951,112	253,269	2,204,381	—	2,204,381
セグメント利益	46,051	38,885	84,936	—	84,936
セグメント資産	1,942,191	122,152	2,064,344	—	2,064,344
その他の項目					
減価償却費	159,953	2,532	162,485	—	162,485
のれん償却額	15,605	—	15,605	—	15,605
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	455,178	7,605	462,783	—	462,783

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラット フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,317,866	300,766	2,618,633	—	2,618,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,317,866	300,766	2,618,633	—	2,618,633
セグメント利益	198,548	78,403	276,952	—	276,952
セグメント資産	2,542,897	208,537	2,751,470	—	2,751,470
その他の項目					
減価償却費	178,327	3,710	182,038	—	182,038
のれん償却額	54,908	—	54,908	—	54,908
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	460,079	2,393	462,473	—	462,473

## （1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）		当連結会計年度 （自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）	
1株当たり純資産額	168.68円	1株当たり純資産額	202.20円
1株当たり当期純損失（△）	△5.54円	1株当たり当期純利益	29.09円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	29.05円

（注）1. 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）	当連結会計年度 （自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）	—	29.09
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△34,994	183,391
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△34,994	183,391
普通株式の期中平均株式数（株）	6,314,001	6,303,689
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	29.05
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	—	9,699
（うち新株予約権（株））	—	9,699
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	第4回新株予約権 （新株予約権の目的となる 株式の数48,936株）

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。